

2011年中部地域新春のつどい開催！！



がんじゅう班の上江洲さんによる民謡（沖縄市支部新春のつどい）

一月二十二日からゆし園ホールにて於いて、医療生協沖縄市支部と中部協同病院との共催による毎年恒例の「新春のつどい」が開催されました。司会は中部協同病院総務課の新崎あゆみさん。背筋をピンと伸ばし誠実な話し振りは、なかなか立派でした。

幕開けは支部組合員の三線班（班長 兼城賢清）のみなさんの堂々とした唄・三線・琴による舞台でした。支部運営委員長あいさつでは、「健康をつくる。平和をつくる」そして「人々の協同で明るいまちづくりを進める」ことを目標に、みんなで心をひとつにして頑張っていきたいと思います。との訴えがありました。続いて元支部長の中石清重さんは「医療生協運動の前進で住民生活が豊かになる」と元気よく乾杯の音頭をとってくださいました。泡瀬干潟を守る連絡会の前川盛治事務局長の連帯のあいさつ後、中



組合員と職員によるかぎやで風で幕開け（具志川支部新春のつどい）

部協同病院の与儀洋和院長は、中部協同病院のいまの奮闘ぶりや、生協運動の限らない発展につながる取り組みのことなど、力強いメッセージを寄せていただきました。

余興では組合員による琉舞や比屋根華太鼓の勇壮でかわいらしいバチさばきに、参加者は大喜びでした。最後はがんじゅう班の上江洲恒雄さんの民謡そしてカチャーシーで舞台と会場が一体となって大いに盛り上がり閉会しました。参加者は百十七名。



息びったり華麗な社交ダンス（石川支部新春のつどい）

「つどい」が成功したのは、参加された職員の方々の献身的な働きが一番だと思えます。会場設営から受付・接客など決められた任務をこなし、後片付けや清掃まで本当によく頑張ってくれました。このことは一人はみんなのために、みんなは一人のために」という心豊かな生き方と



記念すべき第1回名護支部新春のつどい

組合員さんによるハワイアンダンス（宜野湾支部新春のつどい）



「生協の主人公は組合員である」という立場にしっかり立った職員集団なればこそだと思えました。きっと、医療生協の事業の質の向上にも反映されることでしょう。大いに期待するところです。

今年初めての組合員と職員の協同のとりくみでしたが、これからも、その「協同のとりくみ」をいっそう重視して、医療生協運動のさらなる前進のために力を合わせていきたいと思います。

（沖縄市支部運営委員長
玉城 栄史）



最後はみんなでカチャーシー

中協部署紹介 ～健診室～

ご存じない方もいらっしゃると思いますが、中部協同病院にも人間ドックや特定健診などを取り扱う「健診室」があります。5番内視鏡室のそのまた奥で毎日受診者のみなさんとやり取りをしています。

大変小さいスペースなので、待合室もなく、せっかくなにかの受診者の方に来ていただいても、立って待っていらっしゃる方などおいて、みなさんには多大なご迷惑をおかけしている状態です。

もう少し広い待合室でゆったりとすごしてほしいとの思いからいろいろな検討の結果、旧運動療法室を改装し、健診室を作ることになりました。すでに運動療法室は地下に移転し、広々とした地下とは思えない明るいお部屋でみなさまにも快適にご利用いただいているところです。

これまでの旧運動療法室も2月から改装工事がはじまり、一月末に建物がほぼ完成いたしました(上記写真)。現在、4月のリニューアルオープンに向けて準備しているところです。また、外来とつなぐ渡り廊下も作る予定ですので外にいったん出ることなく、外来と行き来することができます。

2011年4月から新年度がはじまり、役所や職場から人間ドックや特定健診、生活習慣病予防健診などの案内が届きます。新しく広くなった健診室で検査を受けながらゆったりとお過ごし下さい。

みなさまのお越しをお待ちしております。

(健診室 松尾 綾子)



辞旧迎新

平成二三年旧暦一月三日(土)、デイケアの新年会が例年通り泡瀬の産業交流センターにて催されました。今年の冬は沖縄も雨続きの寒い日々でしたが、当日はきれいに晴れ、しかも暖かく日頃の行いの良さを通所者、職員とも実感しました。午前十一時、送迎の車がデイケアを出発。送迎も、会場内誘導もスムーズで十二時には全員着席。スタンバイOKでデイケア職員は幕開けの「かぎやで風」を踊るため着替えに走ります。

(プログラム)

一 司会の儀間さん開会宣言

二 和服に着替えたデイケア職員は三線の音ののってシズシズと舞台へ。古典中の古典「かぎやで風」 格調高く踊れたかな?

三 管理部を代表して大城真千子総師長による挨拶と乾杯の音頭。

あとは沖縄の旧正月らしく華やかな舞台が続きます。琉舞、琉球民謡、日舞、また琉舞。変わったところで空手を讃えた踊り。出演者は通所者の家族、組合員、元職員、ボランティア、職員とその家族。何と心暖まる年の初めでしょう。

トシビー祝は四名の対象者がいましたが都合により出席したのはお一人でした。記念品を受け取りインタビューに照れた笑顔が素敵でした。

また、弁当形式の御馳走も好評でした。エビフライが硬くないか心配

でしたが、一番美味しかったとのこと。一安心。高齢者が対象ですので飲み物は毎回給水ポットに熱いお茶を準備して配っていましたが会場ボランティアの活躍で滞りなく行えました。

プログラムの最後は約二十分の民謡ショー。若い歌い手の中に通所者Wさんのお孫さんがいらして、誇らしげなWさんとニコニコ笑いあう微笑ましい場面もありました。さてカチャーシー。通所者もその家族も職員もダイサナジャーの赤ふんどしトリオもボランティアも皆そろって、アネモーレーモーレー(舞ーれー、舞ーれー)ヒヤミカセー。

今年に通所者三十八名、家族二十四名、ボランティア二十七名、デイケア職員九名の合計九十八名。こんなにたくさんの方々が楽しく二時間をともに過ごすことが出来ました。通所者のみなさんがお元気で来年もまたこういう機会がもてるようこの一年、職員一同頑張っていきたいと思っております。

最後になりましたが、デイケア職員以上に働いてくださったボランティアの皆様に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(通所リハビリ室 垣花 サエコ)



2011年元旦の入院食をご紹介します!

(内容)

- 天ぷら (エビ、いんげん、魚、なす、さつまいも)
- 煮物 (豚赤肉、昆布、かまぼこ、ごぼう、大根、花人参)
- 小鉢 (金時甘煮、田いも)
- 汁 (中味汁)
- 果物

☆医食同源

みなさん今年も健康で過ごしましょう!!



(栄養管理室 新垣 恒雄)

祝祭日、開所しました!!

平成22年9月20日(月)の敬老の日より、中部協同病院通所リハビリは祝日の通所を開始しました。通所者15名前後、介護職員4名、リハビリ室からの応援セラピスト1名で行っています。利用者・家族からも喜ばれています。お正月は休みとなるため今後の課題となります。今後もより良いサービスが出来るよう職員一同がんばります。

よろしくお祈りします。
(通所リハビリ室 和仁屋 匡史)